

# 平成 27 年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

## 議事録

### [ 第 2 回 委員会 ]

1. 日時 平成28年2月8日(月) 13時00分～15時00分
2. 場所 鉄道・運輸機構 東京支社5階第1会議室
3. 出席者 委員 : 家田委員長、山内委員、屋井委員、楓委員、矢ヶ崎委員
4. 議事

#### (1) 議事録の確認について

■ 第 1 回委員会の議事録は了承された。

#### (2) 整備新幹線事業の事後評価対象事業に関する事後評価報告書(案)について

■ 第 1 回委員会意見を踏まえ、東北新幹線(八戸・新青森間)事業及び九州新幹線(博多・新八代間)事業に関する事後評価報告書(案)について鉄道・運輸機構より説明。

#### ■ 委員からの主な意見

第 1 回委員会意見を踏まえた資料の修正について了承を得たが、以下の追加意見が出された。

##### ① 報告書(案)の表紙について

・表紙の写真は、「人」を主役にした新幹線開業による地域の盛り上がりの分かる写真にしていただきたい。

##### ② 事業に関する基本的事項の分析

・東北新幹線と九州新幹線の事業費の比較などを掲載していただきたい。

##### ③ 事業による効果・影響の発現状況

・事後評価の公表時期が北海道新幹線開業のタイミングでもあるため、北海道新幹線と東北新幹線の繋がりをもう少し表現すること。

・CO2 の削減量は、比較対象を全国ではなく、沿線地域のわかり易い指標とすること。

##### ④ 事業から得られた種々の教訓、今後の事後評価と見直しの必要性

・輸送密度の想定値と実績値の乖離(約 10～15%)については、区間別のシェアを分析することにより要因が明らかになったが、新幹線開業後の他交通機関のサービスレベルの

変化をどのように見込むかについては今後の課題であるので、学びを深めること。

⑤ 事業概要書について

- ・一般の方にも分かりやすい表現・構成に努めること。
- ・「事後評価」の説明を追加すること。
- ・新幹線は雪に強い乗り物であるということを追加すること。
- ・沿線自治体の取組みも積極的に紹介すること。
- ・熊本市は途中駅でも地元が力を入れれば効果があったという文章を追加すること。

⑥ その他

(平成 27 年 1 月 14 日の政府・与党申合せの工期短縮による財源消失に対して)

- ・社会経済的にみると投資効果や経済波及効果が向上するものの、財源スキームをみると国や地方負担の財源が消失するため、新たな財源確保が必要な仕組みになっている。工期短縮すると 1 年当たりの事業費は増加するはずであるが、公共事業費が毎年一定額というのはおかしいし、建設主体が外部から資金調達しなければならないという仕組みも再考すべきである。

(3) 議事録および委員会提出資料等の公表時期、公表内容について

- 事業評価監視委員会の議事録および委員会提出資料の公表時期、公表内容について了承を得た。
- 第 2 回委員会意見の追加意見を踏まえた資料の修正は、委員長に一任された。

[ 第 2 回委員会後の対応 ]

- 第 2 回委員会における追加意見を踏まえた資料について、委員長に説明を行い、了承を得た。